

事前評価個表

整理番号	21
------	----

地域（地区）名	ながさきほくぶ 長崎北部	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	長崎県	対象市町村	きせほし 佐世保市ほか7市町
事業実施期間	H30～H34（5年間）	事業実施主体	県・市町・森林組合・林業公社

事業の概要・目的	<p>本地区は、長崎県の北部に位置し、森林率51%、森林面積52千haで、このうち民有林人工林が22千ha、人工林率42%となっており、人工林は主にヒノキにより構成されている。</p> <p>人工林の齢級構成はⅩ齢級をピークとして、Ⅹ齢級以上の面積が74%となっており、間伐等の保育作業が必要な状況にあるが、近年の木材価格の低迷と森林所有者の高齢化、不況などから手入れが不十分な森林が見られている。</p> <p>森林整備を進めるためには、木材生産コストを縮減し、収益性の向上を図る必要があるが、小規模所有者の集約化、高性能林業機械の計画的配備、林業就業者の確保等が課題となっている。</p> <p>このため、今後、集約化施策を進め、路網整備と高性能林業機械の効率的な利用により生産コストの縮減を図り、森林所有者への収益還元率を高め、最終的には安定的な林業経営体系を構築する。</p> <p>本事業では、森林環境保全整備事業計画等に基づき、効率的な施業に不可欠な森林作業道の整備と搬出間伐等の森林整備を一体的・計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：3,297ha 保育間伐、間伐、森林作業道</p> <p>総事業費：1,659,718千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 9.87 (総便益 (B) = 16,484,165千円、総費用 (C) = 1,669,514千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の残存状況、森林整備の緊急性から森林整備の必要性は高い。</p> <p>効率性：費用対効果の分析結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：計画的は森林整備により水源涵養<sup>かんよう</sup>や県土保全等の機能の確保が期待されることから、有効な事業である。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

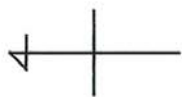
事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 長崎県

地域(地区)名: <sup>ながさき ほうふ</sup>長崎北部

(単位: 千円)

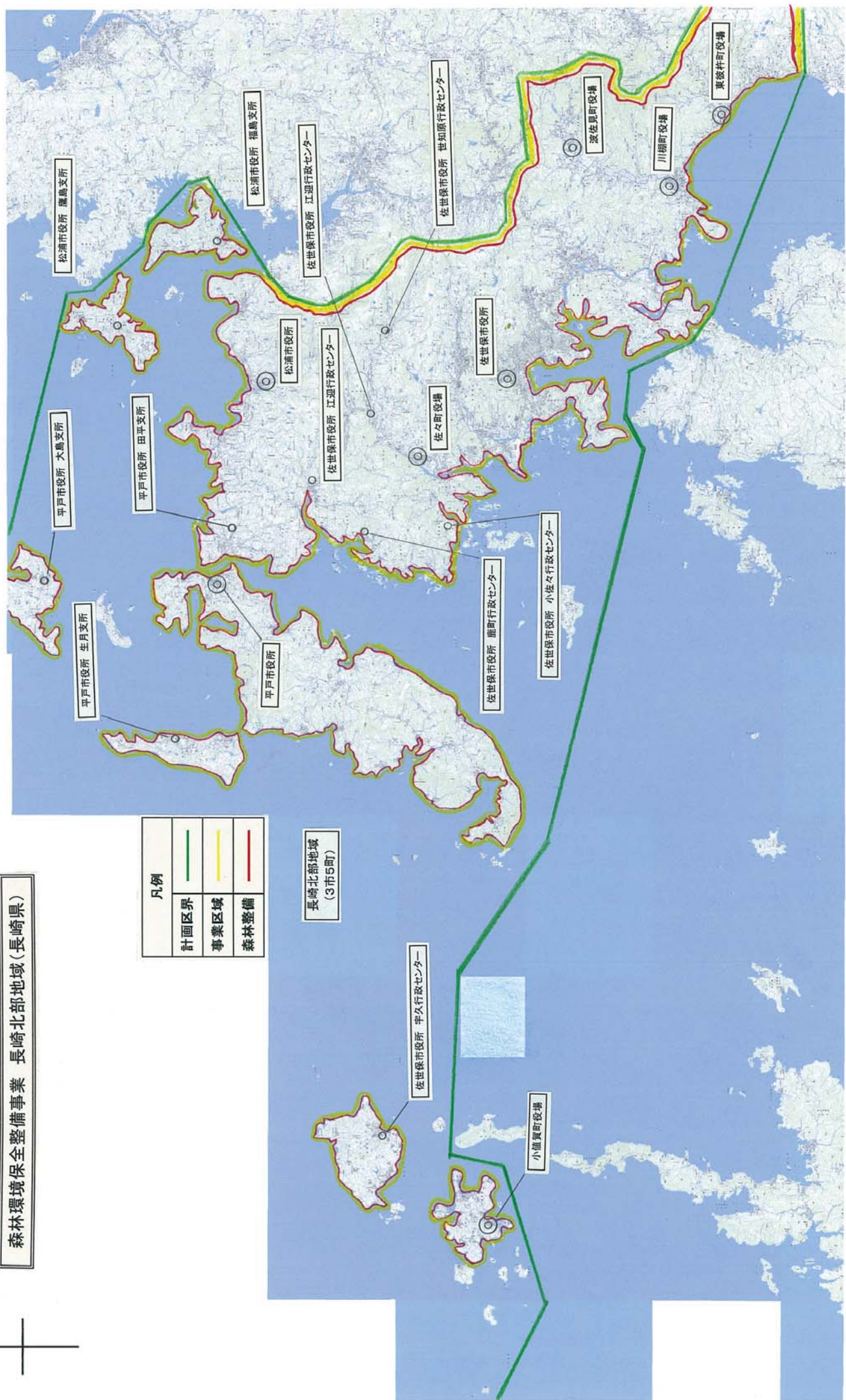
大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	4,987,213	
	流域貯水便益	1,654,936	
	水質浄化便益	4,021,814	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,612,412	
環境保全便益	炭素固定便益	2,207,790	
総 便 益 (B)		16,484,165	
総 費 用 (C)		1,669,514	
費用便益比	$B \div C = \frac{16,484,165}{1,669,514} = 9.87$		



森林環境保全整備事業 長崎北部地域(長崎県)

凡例	
計画区界	—
事業区域	—
森林整備	—

長崎北部地域  
(3市5町)



0 12.50 [km]